

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2012年9月28日設定)
運用方針	主にフィリピンの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J」の投資証券(米ドル建て)およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎年3月7日および9月7日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・
フィリピン株式オープン

第25期（決算日 2025年3月7日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〔お問い合わせ先〕

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス: <https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率		
	円		円		%	百万円
21期(2023年 3 月 7 日)	8,948		0	△ 1.6	92.5	1,229
22期(2023年 9 月 7 日)	8,896		0	△ 0.6	91.8	1,255
23期(2024年 3 月 7 日)	9,883		0	11.1	91.9	1,296
24期(2024年 9 月 9 日)	9,674		0	△ 2.1	92.8	1,212
25期(2025年 3 月 7 日)	9,013		0	△ 6.8	91.1	1,087

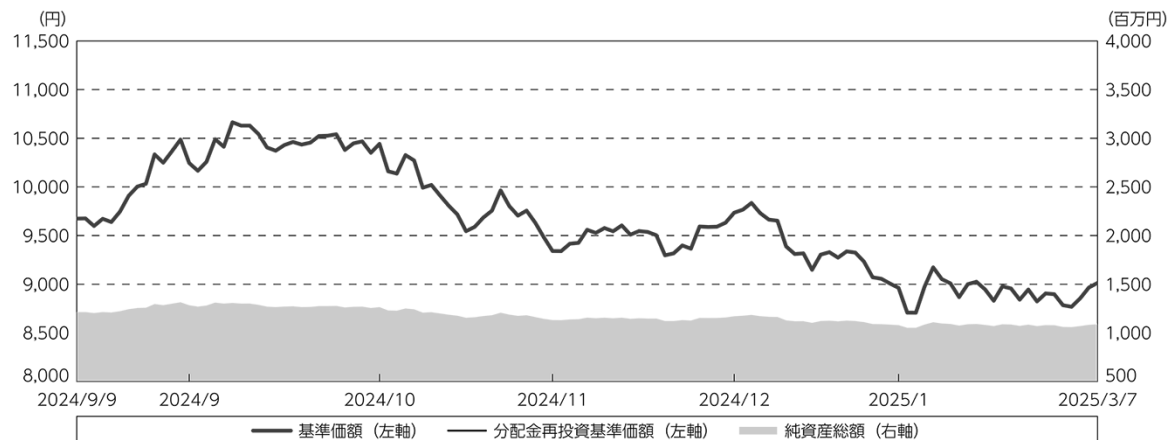
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。
(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2024年 9 月 9 日	円		%	%
	9,674		—	92.8
9 月末	10,245		5.9	91.1
10月末	10,442		7.9	92.8
11月末	9,341		△3.4	92.0
12月末	9,735		0.6	91.8
2025年 1 月末	8,962		△7.4	91.1
2 月末	8,897		△8.0	92.0
(期 末) 2025年 3 月 7 日	9,013		△6.8	91.1

(注) 騰落率は期首比です。

基準価額等の推移について



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年9月9日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

- ・投資先ファンドを通じて保有する株式が下落したこと。

投資環境について

フィリピン株式市場

当期のフィリピン株式市場は下落しました。期初から2024年10月初旬にかけては、フィリピンペソが対米ドルで比較的堅調に推移する中、中国における景気刺激策への期待などからフィリピン株式市場は上昇しました。しかし、その後はインフレの落ち着きなどを背景にフィリピン中央銀行が10月と12月にそれぞれ0.25%の利下げを行ったことや、米国でのトランプ政権誕生によるインフレ懸念などからフィリピンペソ安が進み、フィリピン株式市場は2025年1月末にかけて下落トレンドをたどりました。2月以降は、米長期金利が低下し、フィリピンペソが対米ドルで堅調に推移する中、株式市場は底堅い展開となりました。

為替市場

フィリピンペソは、2024年10月から11月半ばにかけては、米長期金利の上昇やフィリピン中央銀行による利下げなどを受け、対米ドルで下落基調をたどりました。その後も、米長期金利の動きに左右される展開が続き、フィリピンペソは上下に振れる展開となりましたが、2025年2月以降は米国トランプ政権による関税政策への不透明感などを背景に米長期金利が低下する中、フィリピンペソは上昇しました。円は、日銀が1月に0.25%の利上げを実施したものの、米長期金利の上昇などを背景に対米ドルで下落したことから、通期ではフィリピンペソは円に対して上昇しました。

国内債券市場

国内債券市場は、期中を通じて上昇しました。日銀が2024年7月末に0.25%の利上げを行った後も、円安による物価高や米などの食料品価格の上昇などを受けて、日銀による利上げペースの加速化への懸念などを背景に日本国債利回りは一貫して上昇基調をたどり、期末には1.5%を超えました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・フィリピン・エクイティ・ファンドクラスJ（以下「フィリピン・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

フィリピン・エクイティ

フィリピン株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期は住宅および商業部門における旺盛な電力需要を背景に収益が好調な伸びを示したことなどから株価が上昇した大手電力会社（MANILA ELECTRIC COMPANY）などの保有がプラス要因となる一方、マクロ経済の成長が予想を下回って推移する中、住宅販売の先行きに対する懸念などを背景に株価が下落した大手不動産会社（AYALA LAND INC.）などの保有がマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

〇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第25期
	2024年9月10日～ 2025年3月7日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,951

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) ー印は該当がないことを示しています。

〇今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるフィリピン・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

フィリピン・エクイティ

フィリピンの足元のインフレ率は、フィリピン中央銀行のインフレターゲットである2～4%の下限近辺で推移しているため、今後フィリピン中央銀行による更なる利下げについて注目が集まっています。フィリピン株式市場は、トランプ米政権の関税を始めとした対アジア政策などマクロ経済に対する不透明要因を嫌気し、値動きの激しい展開となっていますが、2025年度の企業収益が+10%以上の伸びが予想されている上、足元のバリュエーション(予想株価収益率)が過去5年間の平均と比較して20%以上割安であり、上昇余地があると考えられます。

セクター別では、国内だけでなく海外事業も好調な消費関連銘柄や業界内の競争環境の緩和とモバイル関連の収入増加などが期待される通信関連については強気に見ています。また、今後利下げが継続する見込みではあるものの、消費者ローンの伸びなどから利ざやの維持が期待される銀行セクターについても一部割高な銘柄を除き相対的に強気なスタンスを維持しています。今後とも投資環境の変化に対する市場の反応などに留意しつつ、下落局面では割安となったファンダメンタルズの強固な優良銘柄に選別投資を行います。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 9 月10日～2025年 3 月 7 日)

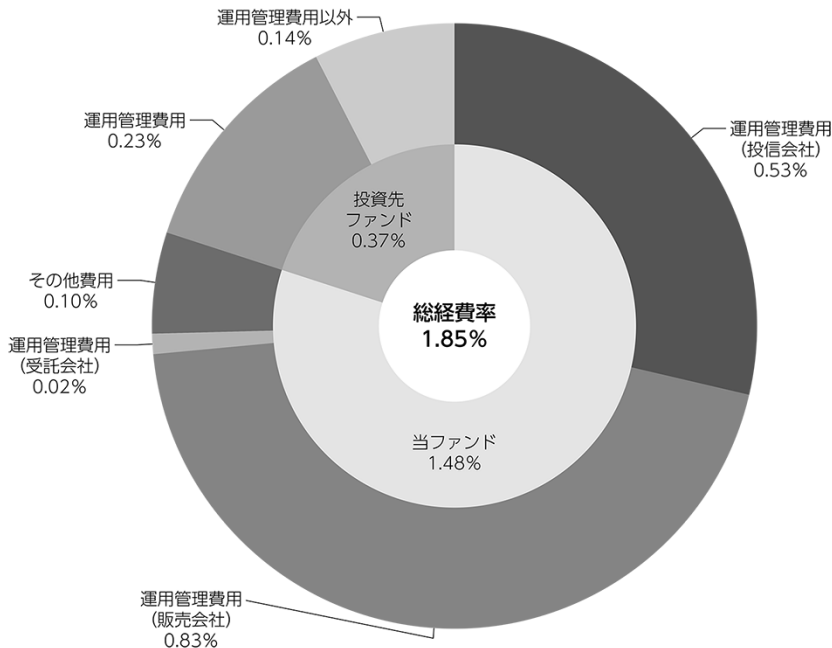
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 65	% 0.674	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(25)	(0.259)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.405)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.049	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(2)	(0.025)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(2)	(0.025)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合 計	70	0.723	
期中の平均基準価額は、9,603円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(単位: %)

総経費率 (①+②+③)	1.85
①当ファンドの費用の比率	1.48
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。
(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年9月10日～2025年3月7日)

投資信託証券

銘柄			買	付	売	付
			口数	金額	口数	金額
外国	米ドル建	イーストスプリング・インベストメンツ	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	ルクセンブルグ籍	フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	6	100	28	550

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2024年9月10日～2025年3月7日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年3月7日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		
		口数	口数	評価額	比率
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)		千口	千口	千円	%
		4,636	4,636	4,781	0.4
合 計		4,636	4,636	4,781	0.4

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄	柄	期首(前期末)	当 期 末			
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		千口	千口	千米ドル	千円	%
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J		407	385	6,659	986,028	90.6
合 計		407	385	6,659	986,028	90.6

(注) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2025年3月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	4,781	0.4
投資証券	986,028	89.8
コール・ローン等、その他	106,877	9.8
投資信託財産総額	1,097,686	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。
(注) 外貨建純資産（986,028千円）の投資信託財産総額（1,097,686千円）に対する比率は89.8%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年3月7日における邦貨換算レートは、1米ドル=148.07円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年3月7日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,097,686,833
コール・ローン等	106,875,297
投資信託受益証券(評価額)	4,781,923
投資証券(評価額)	986,028,589
未収利息	1,024
(B) 負債	9,702,908
未払解約金	1,209,264
未払信託報酬	7,917,960
その他未払費用	575,684
(C) 純資産総額(A－B)	1,087,983,925
元本	1,207,130,938
次期繰越損益金	△ 119,147,013
(D) 受益権総口数	1,207,130,938口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,013円

(注) 元本の状況
期首元本額 1,253,450,351円
期中追加設定元本額 81,261,662円
期中一部解約元本額 127,581,075円
(注) 1口当たり純資産額は0.9013円です。
(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

○損益の状況 (2024年9月10日～2025年3月7日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	70,031
受取利息	70,031
(B) 有価証券売買損益	△ 70,775,216
売買益	44,040,901
売買損	△114,816,117
(C) 信託報酬等	△ 8,493,644
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 79,198,829
(E) 前期繰越損益金	49,805,264
(F) 追加信託差損益金	△ 89,753,448
(配当等相当額)	(163,937,188)
(売買損益相当額)	(△253,690,636)
(G) 計(D＋E＋F)	△119,147,013
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	△119,147,013
追加信託差損益金	△ 89,753,448
(配当等相当額)	(163,937,188)
(売買損益相当額)	(△253,690,636)
分配準備積立金	71,637,572
繰越損益金	△101,031,137

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 分配金の計算過程
計算期間末における費用控除後の配当等収益（0円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、信託約款に規定する収益調整金（163,937,188円）および分配準備積立金（71,637,572円）より分配対象収益は235,574,760円（10,000口当たり1,951円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

当期の分配金は、基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

○お知らせ

該当事項はありません。

＜参考情報＞

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

フ ァ ン ド 名	イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	
形 態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表 示 通 貨	米ドル	
運 用 の 基 本 方 針	主として、フィリピンの企業の株式または株式関連証券に投資を行い、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主 な 投 資 対 象	フィリピンで設立または上場している企業ならびにフィリピンにおいて主に事業展開を行っている企業の株式および株式関連証券	
ベンチマーク	PSEi Index（フィリピン総合指数）※ ¹	
ファンドの関係法人	運 用 会 社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	管 理 会 社	イーストスプリング・インベストメンツ（ルクセンブルグ）S.A.
申 込 手 数 料	ありません。	
運 用 報 酬	年率0.25%	
管 理 費 用 等	年率0.15%程度	
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等がかかります。	
設 立 日	2007年7月2日	
決 算 日	毎年12月31日	

フ ァ ン ド 名	イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）	
形 態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表 示 通 貨	日本円	
運 用 の 基 本 方 針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主 な 投 資 対 象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス（1－10年債）※ ²	
ファンドの関係法人	委 託 会 社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	受 託 会 社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主 な 投 資 制 限	・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
申 込 手 数 料	ありません。	
信 託 報 酬	年率0.22%（税抜0.2%）	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設 定 日	2002年8月26日	
決 算 日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）	

※¹ PSEi Index（フィリピン総合指数）は、フィリピン証券取引所が公表している指数です。

※² ICEの指数データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（以下「ICE Data」）及び／またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ－フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J」を含む「イーストスプリング・インベストメンツ－フィリピン・エクイティ・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2023年12月31日を基準日とするAnnual Report（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

損益計算書及び純資産変動計算書

	2023年12月31日に終了した事業年度	米ドル
期首純資産		29,172,357
収益		
配当金		440,052
預金利息		5,713
収益合計		445,765
費用		
運用報酬		140,340
運営費用及びサービス費用		29,415
その他費用		52
費用合計		169,807
純投資収益（損）		275,958
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損）		(1,805,798)
外国為替に係る実現純利益（損）		31,580
実現純利益（損）		(1,774,218)
投資有価証券に係る未実現評価益（損）の変動額		1,985,041
外国為替に係る未実現評価益（損）の変動額		7,913
未実現評価益（損）の純変動額		1,992,954
運用による純資産の純増加額（減少額）		494,694
資本金の変動		
投資証券の発行		3,663,229
投資証券の解約		(10,468,089)
当期の純資産の変動額		(6,310,166)
期末純資産		22,862,191

投資有価証券明細表（2023年12月31日現在）

（米ドル表示）

銘柄	数量	通貨	評価金額	対純資産 比率(%)
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制 ある市場で取引されている譲渡可能な有価証券				
株式				
Philippines				
Aboitiz Equity Ventures Inc	836,180	PHP	674,097	2.95
Aboitiz Power Corp	509,800	PHP	347,866	1.52
ACEN Corp	2,588,640	PHP	204,497	0.89
Alliance Global Group Inc	1,499,300	PHP	305,261	1.34
Ayala Corp	84,599	PHP	1,041,157	4.55
Ayala Land Inc	1,829,050	PHP	1,137,568	4.98
Bank of the Philippine Islands	1,025,773	PHP	1,921,716	8.41
BDO Unibank Inc	920,520	PHP	2,169,345	9.49
Bloomberry Resorts Corp	1,012,800	PHP	180,303	0.79
Century Pacific Food Inc	925,000	PHP	516,852	2.26
Converge Information and Communications Technology Solutions Inc	256,800	PHP	38,934	0.17
Globe Telecom Inc	26,115	PHP	811,012	3.55
GT Capital Holdings Inc	34,125	PHP	363,774	1.59
International Container Terminal Services Inc	251,895	PHP	1,123,559	4.91
JG Summit Holdings Inc	1,071,808	PHP	739,151	3.23
Jollibee Foods Corp	244,290	PHP	1,109,204	4.85
Manila Electric Co	112,290	PHP	810,899	3.55
Metropolitan Bank & Trust Co	774,401	PHP	717,397	3.14
Monde Nissin Corp ‘144A’	2,589,200	PHP	392,017	1.71
PLDT Inc	48,095	PHP	1,112,220	4.87
Puregold Price Club Inc	513,910	PHP	249,979	1.09
San Miguel Corp	130,130	PHP	239,743	1.05
SM Investments Corp	137,488	PHP	2,167,311	9.48
SM Prime Holdings Inc	3,737,675	PHP	2,222,046	9.72
Universal Robina Corp	521,310	PHP	1,111,995	4.86
Wilcon Depot Inc	467,900	PHP	176,603	0.77
			21,884,506	95.72
株式合計			21,884,506	95.72
投資総額			21,884,506	95.72
その他資産			977,685	4.28
純資産			22,862,191	100.00

「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 2 月27日～2025年 2 月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 23	% 0. 219	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(15)	(0. 143)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0. 022)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0. 055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0. 013	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0. 013)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	24	0. 232	
期中の平均基準価額は、10, 493円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○組入資産の明細

(2025年2月25日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期		期 末		残存期間別組入比率		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率			
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	739,500	745,120	98.2	—	49.0	15.2	33.9
合 計	739,500	745,120	98.2	—	49.0	15.2	33.9

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) —印は組入れなしです。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		期 末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第351回利付国債 (10年)	0.1	60,000	58,465	2028/6/20
第354回利付国債 (10年)	0.1	59,000	56,972	2029/3/20
第359回利付国債 (10年)	0.1	175,000	166,551	2030/6/20
第13回利付国債 (30年)	2.0	42,000	44,553	2033/12/20
第14回利付国債 (30年)	2.4	66,000	72,205	2034/3/20
第75回利付国債 (20年)	2.1	20,000	20,022	2025/3/20
第80回利付国債 (20年)	2.1	43,000	43,232	2025/6/20
第87回利付国債 (20年)	2.2	55,000	55,906	2026/3/20
第91回利付国債 (20年)	2.3	135,000	138,277	2026/9/20
第117回利付国債 (20年)	2.1	84,500	88,933	2030/3/20
合 計		739,500	745,120	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。